

令和 7 年度 自己評価結果とりまとめ

1, 評価項目の達成および取り組み状況

つくしんぼ保育所

評価項目	取り組み状況
I、保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りを大切にし、継続性のある計画を立てていく。 ・一人ひとりの発達段階を把握して個別、年間指導計画に基づいて計画を立てて保育をしていく。 ・クラスの職員で課題や保育の振り返りなど共有し計画を立てている。 ・年間計画に基づいて月案、日案を立てる。 ・子ども一人ひとりに合った保育計画を立てる。
II、保育のあり方、幼児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・声掛け（アイメッセージ）を心がける。 ・安心感を与え子どもが自分らしくいられる環境づくり応答的な関わり子どもの自己肯定感を育む過程を大切に与える。 ・子どもの気持ちを受け止め言葉にするなど丁寧に応じる。 ・遊びを通して育つ事を理解し保育を展開していくように取り組んでいる。
III、保育者としての資質や力・良識・適正	<ul style="list-style-type: none"> ・職員同士の連携をとり、子どもや保護者の事について報・連・相をしっかり行う。 ・子どもを大切に思い支える為の専門的な知識とスキル向上と人としての信頼感を得られるように子どもを観察し、声に耳を傾け、日々の保育を振り返り、学ぶ姿勢を持ち保護者や職員間でコミュニケーションをとりつながれるように意識的に取り組んでいる。
IV、保護者への対応・守秘義務	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの話や家庭のことは必要な場合、帳面だけでは伝わりにくい時もあるので直接口頭で伝えている。 ・保護者の多様な価値観を受け止め共感的に寄り添い配慮の姿勢を示す。
V、地域の自然や社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事にも積極的に参加する。 ・近隣の自然環境についての情報収集に努め ・保育に取り入れる散歩中など出会う人と挨拶をかわすなど交流をもつ。
VI、保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップをはかり、未受講の分野の研修を調べ可能であれば受講する ・保育雑誌などで最新の情報を得る。
VII、保育のあり方、3歳未満児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・安心できる大人と感じられる関わりをする。 ・丁寧な生活援助を行う・保育所で安心して過ごせるようにゆっくりと丁寧に関わるようにしている。 ・安心感を最優先にした保育を意識し、子どもの思いや要求に応じることを継続していく。
VIII、地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・笑顔での対応話しやすい雰囲気作り。 ・地域の方に出会った時は挨拶をしたり、話かけてもらったり関わりを持つ。 ・地域の行事にも積極的に参加し、交流の機会をもつ。
IX、食育の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・食べる事を楽しめるようにする。食への意欲、関心を持つ。 クッキングや栽培することで、作る楽しさ育てる体験で五感を楽しむ ・離乳食の提供においては、ひとりひとりの発達や食べ具合を注意し観察し、個別に食事量等対応する。 ・アレルギーの誤食があってはいけないので、給食室、保育士共に連携しその日の食材を確認し合う。必ず除去食のある子どものそばに保育士が付くよう徹底する

2, これから改善したいこと

つくしんぼ保育所

評価項目	具体的な取り組み
I、保育の計画性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の時間内に終わらないことがあり、バタバタしてしまうことがいくつかあったので見直しをもって活動していく。 ・安心して過ごせる環境づくりを大切にしているが、一人ひとりの発達や生活リズムに合わせた関わりと計画に十分反映できていない事が今後の課題である。
II、保育のあり方、幼児への対応	<p>子ども同士のトラブルがあった時には、両方の子どもの話を個別に聞き取り何があったのかを詳しく理解した上で、それぞれがどうしたかったのか、どうして欲しかったのかを自分の言葉で表せるように関わろうとしてきたが、もう少し上手に気持ちを聞き出せるようにしたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心感を与え子どもが自分らしくいられる環境づくり、応答的な関わり子どもの自己肯定感を育む過程を大切に与える。
III、保育者としての資質や力・良識・適正	<p>子どもを大切に思い支える為の専門的な知識とスキル向上と人と人との信頼感を得られるように子どもを観察し声に耳を傾け日々の保育を振り返り、学ぶ姿勢をもち、保護者や職員間でコミュニケーションをとり、意識して取り組んでいる。</p>
IV、保護者への対応・守秘義務	<p>保護者とは丁寧な言葉使いと笑顔でのあいさつ子どもの姿を丁寧に伝える不安や悩みなど寄り添う姿勢を大切にする。知り得た情報はむやみに話さず他人に漏らすことなく、大事に守る。</p> <p>個人情報の取り扱いに十分配慮し信頼関係を損なわないよう責任ある行動を心がける。</p>
V、地域の自然や社会とのかわり	<p>散歩時には地域の方への挨拶を大切にし、温かく見守って頂ける関係づくりを意識している。</p> <p>地域の中で育つ子どもたちである事を意識した保育を心掛けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四季を通じて笹部などの自然に触れる事を引き続き続けていく。よもぎ摘みやさんきらいの葉を摘む際には周囲の環境に注意する。
VI、保育者の専門性に関する研修・研究への意欲・態度	<p>様々なことに関心を持ち、自主的に勉強し、保育の意識を高めていく。</p> <p>発達や愛着形成に関する研修に興味を持ち、資料などを読みながら日々の保育に生かせるよう、記録や振り返りを通して保育の質の向上につなげていきたい。</p>
VII、保育のあり方、3歳未満児への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉で十分に表現できない思いを受けとめ、共感的に関わることを大切にしている。 ・子どもの気持ちを代弁しながら信頼関係を深めていきたい。 ・一人ひとりの気持ちや発達をより丁寧に捉え安心感を基盤とした ・関わりをさらに深めていきたい。日々の小さな変化に気づけるよう観察を大切にし、子どもの思いをく。
VIII、地域における子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て支援や行事に積極的に関わり、保護者や地域とのつながりをより深め、子どもたちの生活や育ちに活かしていきたい。 ・地域の方と笑顔で挨拶をかわし、いつでも話かけやすい雰囲気と関わりを持てるようにする。
IX、食育の取り組み	